

◎1次評価(自己評価)

○視點別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input checked="" type="radio"/> 意図した効果があがっている <input type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない	スポーツ少年団指導者の資質の向上・団員リーダーの育成等について、目的に応じた効果が得られている。
	<input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている	本市スポーツ少年団の指導者の指導力の向上と団員の心と体の健全な育成を図ることを目的とする上で必要である。
	<input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助成の在り方等の見直し 必要性	<input checked="" type="radio"/> 見直しの必要はない <input type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	スポーツ安全保険・各団への補助について、スポーツ少年団活動の充実が図れるため、現行のとおりでよいと考える。
○総合評価と今後の方向性		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> 総 合 評 価 </div>	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し 休止・廃止の具体的方向性 <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()
	判 定 理 由	本市スポーツ少年団活動の団数・団員の確保及び活動の充実を図ることを考えると、現行のとおり継続していくことが望ましいと考える。
今後の課題と見直しの 方向性(総合評価判定が B1～B4の場合)	課 題	
	見 直 し の 方 向 性	

◎2次評価

判 定	A1特段の見直しを行わず、現行のまま継続 ▼
備 考	補助金は、保険等に充当されており、スポーツ少年団活動の充実やスポーツの振興に寄与している。現行のまま継続することが適当と判断した。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 ()	
<input type="checkbox"/> 補助額の削減 <input type="checkbox"/> 補助額の増加 <input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減	36 千円
備 考	

(スポーツ少年団運営費補助金)